

議題 3. 2016 年度事業計画（案）

I. 総務会

1. 委員会の開催予定

第 1 回 2016 年 4 月 15 日

以降、2016 年度理事会の議題調整等を主な目的として、理事会の開催に合わせ、概ね 2 か月に 1 度開催する。

2. 事業計画と年間目標

- 1) 2016 年度～2019 年度重点事業目標を進める。
- 2) 第 88 回（2017 年度）総会の開催を準備する。
- 3) 議事要録や委員会資料等の記録管理用ファイルサーバを導入し文書管理システムを整備する。
- 4) 地区会事務局連絡会議を開催する。
- 5) 委員長会議を開催する。
- 6) 地区会への理事派遣を継続する。
- 7) 協会出版物の電子化を検討する。
- 8) その他、理事会及び各委員会活動に関する検討、意見調整を行う。

3. その他

担当委員会のあるものは、当該委員会の事業計画（案）を参照のこと。

4. 事業別計画

1) 医書電子化検討 WG

(1) 委員会の開催予定

第 1 回 6 月 日本医書出版協会(JMPA)との意見交換

第 2 回 9 月 JMPA との意見交換

第 3 回 12 月 JMPA との意見交換

第 4 回 3 月 JMPA との意見交換

※ワーキンググループメンバー間の打合わせは、普段はメールで行い、JMPA との意見交換があった際は、その前後の時間を使っている。

(2) 事業計画と年間目標

①JMPA との国内医書電子化に関する意見交換

医療従事者、研究者、医学生など、医書利用者にとって実用性のある電子出版モデルが実現されるよう、JMLA と JMPA との間で意見交換を行う。

②国内医書利用実態調査報告

2015 年度に行った国内医書利用実態調査に関する報告をまとめ、『医学図書館』に投稿する。

③他委員会との連携

電子出版に関心のある出版委員会、医療・健康情報委員会等と意見交換を行い、必要に応じて支援する。

Ⅱ．企画・広報委員会（仮称）

1．委員会の開催予定

未定

2．事業計画と年間目標

本会の活動の企画・立案と広報を一括して行うことを目的とする。

新しい委員会なので想定される事業について数年を単位として記述している。

1）会員の便宜を図るための企画及び広報

- （１）会員統計 WG の運営
- （２）重複雑誌交換 WG の運営
- （３）要覧編集 WG の運営
- （４）その他

2）Web などを介した事業企画及び広報

- （１）ホームページ保守・管理 WG の運営
- （２）業務とサービス効率化のためのオンラインサービス（e-ラーニング等）導入の検討
- （３）重複雑誌交換システムの構築
- （４）NDL への蔵書寄贈システムの構築
- （５）その他

3）本会の活動を広めるための企画及び広報

- （１）行事予定広報
- （２）理事会広報
 - ①協会運営の現況
- （３）委員会活動広報
 - ①設置、廃止
 - ②委員や WG メンバーの委嘱
 - ③現況
- （４）ロゴの利用によるブランディング
- （５）その他

4）関連団体との連携に係る企画及び広報

- （１）対象団体：KMLA、MLA、JPLA、JNLA、JLA、HTAi、AMED 等

3．その他

他委員会との連絡・協同に努める。

Ⅲ．機関誌「医学図書館」編集

1．委員会の開催予定

第 1 回	2016 年 6 月	各号の進捗状況と次号の検討
第 2 回	2016 年 9 月	同上
第 3 回	2016 年 12 月	同上
第 4 回	2017 年 3 月	同上

2．事業計画と年間目標

- 1) 「医学図書館」(年 4 号) の刊行
- 2) 編集体制の改善
- 3) 本誌電子化についての検討

IV. 出版委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第 1 回 2016 年 4 月 書籍の出版準備および今後の企画
 - 第 2 回 2016 年 6 月 書籍の出版準備および今後の企画
 - 第 3 回 2016 年 9 月 書籍の出版準備および今後の企画
 - 第 4 回 2017 年 12 月 書籍の出版準備および今後の企画
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 書籍の出版など
 - (1) 「やってみよう図書館での医療・健康情報サービス」第 3 版の出版
 - (2) 「図解 PubMed の使い方 インターネットで医学文献を探す」第 7 版の出版
 - (3) 新「NLM 分類 日本語版」出版(もしくは出版準備)
 - (4) 「わかりやすい医中誌 Web 検索ガイド 検索事例付き」の増刷あるいは改訂の検討
 - 2) 新出版物の企画

V. 雑誌委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第 1 回 6 月 コンソーシアム交渉の進捗確認
 - 第 2 回 8 月 コンソーシアム説明会準備
 - 第 3 回 1 月 交渉, 説明会の反省と次年度交渉, 説明会スケジュール立案
2. 事業計画と年間目標
 - 1) コンソーシアム提案交渉

日本薬学図書館協議会(JPLA)雑誌問題検討委員会と合同で、出版元・代理店と 2016 年契約に向けたコンソーシアム提案の交渉を行う。
 - 2) 新たなコンソーシアム提案の獲得

日本語資料の提案、電子資料の活用を支えるツールなど、新たな提案の獲得を目指す。
 - 3) コンソーシアム説明会の開催

JPLA 雑誌問題検討委員会と合同で、電子ジャーナル・コンソーシアム説明会を京都(2016 年 9 月 2 日)と東京(2016 年 9 月 6 日)とで開催する。
 - 4) 他コンソーシアムとの連携

他コンソーシアムの動向を注視するとともに、必要に応じて、情報交換や協力活動を図る。とくに韓国医学図書館協議会とは引き続き情報交換をすすめる。
 - 5) 他コンソーシアム提案との価格差是正

他コンソーシアムと同じ提案については、価格差が出ないように交渉する。
 - 6) リバースチャージに関するフォロー

各会員館での対応動向を調査し、会員間で共有できるようにする。

VI. 教育・研究委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第1回 7月 年間計画と業務分担、コア研修準備
 - 第2回 9月 学術集会マニュアル作成、JMLA-CE 登録手順作成
 - 第3回 12月 助成申請審査、コア研修マニュアル作成
 - 第4回 2月 MLA I-VIP 公募
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 第1回 JMLA コア研修
 - 2) 第1回 JMLA 学術集会
 - 3) 第18回図書館総合展フォーラム (JMLA/JPLA 共催)
 - 4) 助成募集
 - ・研究助成
 - ・海外研修助成
 - 5) MLA の交換留学プログラム International Visiting Health Information Professionals Program (I-VIP)派遣者支援
 - 6) 学術集会ワーキンググループ募集の検討
 - 7) 学術集会抄録集の ISSN 取得準備
 - 8) JMLA-CE 登録制度の検討と実施
 - 9) 新研修制度への移行に対応したホームページの作成
 - 10) 新研修制度の関係団体への案内
 - 11) 研究助成費及び海外研修助成費給付規程の改訂

VII. 医療・健康情報委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第1回 6月 年間計画と役割分担の確認
 - 第2回 9月 進捗状況確認と審議
 - 第3回 11月 進捗状況確認と審議
 - 第4回 2月 進捗状況確認と審議、2017 年度事業計画検討医療・健康情報ワーキンググループ会議を 1～2 回、からだところの情報センターワーキンググループ会議を 4～5 回開催予定
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 『やってみよう図書館での医療・健康情報サービス』第3版の編集・校正
 - 2) 講師育成の継続
 - (1) 2015 年度に公開した「医療・健康情報サービス研修会の進め方」の改訂と普及。改訂は『やってみよう～』第3版及び第2回研修会で明らかとなった修正点を反映する。
 - (2) 第2回医療・健康情報サービス研修会受講者に対するフォローアップの実施〔医療・健康情報 WG〕
 - 例：メーリングリストでの情報交換等。期間は第3回研修会開催月まで
 - 3) 研修会の企画と実施
 - (1) 第3回医療・健康情報サービス研修会の企画 (2017 年度開催予定)

- (2) 医療・健康情報サービス実施館見学会の企画と実施（サービス研修会と見学会を隔年で実施する。講師育成も兼ねる。）
- 4) 各地区会への協力要請についての検討
例：委員会とサービス実施館(準備中含む)とのパイプ役となる館や人物を定める。
- 5) からだとところの情報センターホームページ [からだところの情報センターWG]
 - (1) 運用方法の検討（各地区会への協力要請を含む）。
 - (2) サイトの再構築
 - (3) 公開
- 6) 医療・健康情報サービスの現状把握
アンケート調査の実施やMLの活用により情報収集に努め、今後の委員会活動（両WG含む）の参考とする。

Ⅷ. 認定資格運営委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第1回 6月 予定内容 年間計画、第26回募集準備、新認定制度の検討
 - 第2回 8月 予定内容 第26回認定資格審査
 - 第3回 11月 予定内容 第27回募集準備、新認定制度の確定・募集開始
 - 第4回 2月 予定内容 事業報告・計画、第27回認定資格審査（新認定制度開始）
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 申請募集と認定審査
2016年7月の第26回申請募集、2017年1月の第27回申請募集に合わせ、申請広報を行う。それぞれ、8月及び2月の会合で認定審査を行う。
 - 2) 新認定制度移行への作業
2016年7月の第26回募集を最後に、第27回募集より新認定制度に移行する。「専門職能力開発プログラム最終報告書（提案）」に基づき、「ヘルスサイエンス情報専門員認定資格」を整備し、同認定資格制度の事業体制と申請・審査の具体的な方法を提案し、移行準備を進める。また新認定制度への変更をアピールするため、印象に残るようなポスター・チラシを作成して、広くプロモーション活動に努める。
 - 3) 新認定制度でのポイント制度
現行のポイント制度に存在している課題について、検討を進めていく。またポイント対象期間を、より多様なライフスタイルに対応できるよう、出産・育児、介護、病気、その他を想定した期間変更を、他の認定資格の例を参考にして検討を進める。
 - 4) プロモーショングッズ
2015年7月に認定資格イメージロゴの商標登録が済み、イメージロゴを活用したプロモーショングッズを製作した。引き続き、申請促進の広報と同様に、資格の社会的認知度向上のためのプロモーショングッズの作成、取得者への配布を行う。またプロモーション用の活用方法を検討する。
 - 5) 申請促進のための情報発信
新認定制度への改訂を踏まえて、申請者が申請しやすくなるように、申請書類やサイト掲載の説明を改訂する。取得者の広報支援のための「JMLA 認定資格スケジュール」や「JMLA 研修時間数一覧」の情報などを適宜改訂していく。また「ポイント表」も、実態に合うわかりやすいポイントになるよう、今後も実情に合わせた改訂を行う。各種案内に

については、管理・更新のしやすさを考えた作業方法を検討する。

6) 資料の整備と保存の見直し

認定審査や関連する活動に際して、継続性を踏まえた資料の整備を行い、詳細な審査の記録を残す。また 2014 年 12 月に過去の申請書類の保存方法の見直しを行い、資料の廃棄を行った。今後は継続的に申請書類の廃棄を進めていくとともに、ファイルサーバ等を活用した電子的な保管を検討していく。

7) 業務分掌の確認

認定資格運営委員会と、JMLA 中央事務局との業務分掌の共有を進める。大まかな役割分担とスケジュール管理は確認できており、より具体的な内容について明確にする。

3. その他

- 1) 他の図書館関連団体が認定する資格や検定試験との連携については、具体的な働き掛けがあれば、積極的に対応していく。
- 2) JMLA の各地区会において、認定資格に関するプロモーション活動を行うことを検討したい。認定資格運営委員が地区会に出向いてプロモーション活動を行うことにより、広報手段を強化することを検討する。

IX. 受託事業委員会

1. 委員会の開催予定

委員会として会議を持たず、総務会で全体を統括する。

2. 事業計画と年間目標

1) 診療ガイドライン作成支援

診療ガイドライン作成支援事業の継続。

※詳細は事業別計画を参照のこと。

2) 医学中央雑誌刊行会受託事業

(1) 米国国立医学図書館分類法 (NLMC) 日本語版作成の完成。

(2) 医療における情報のバリュー・スタディの継続。

※詳細は事業別計画を参照のこと。

3. 事業別計画

1) 診療ガイドラインワーキンググループ

(1) 会議の開催予定

第 1 回 リーダー会 (未定)

第 2 回 WG 委員会 (8 月)

(2) 事業計画と年間目標

① 診療ガイドライン受託

年間受託 15 件を目標とする。

② 研修会開催

文献検索講習会上級 (8 月)

(3) CQ と検索式のデータベース化を検討する。

(4) CQ・KW・代表文献リスト等関係文書の集中管理を検討する。

(5) 診療ガイドラインワーキンググループのスキルを会員に還元する。

2) 米国国立医学図書館分類法 (NLMC) 日本語版ワーキンググループ

- (1) 会議の開催予定
年4回程度開催の予定。
- (2) 事業計画と年間目標
 - ①全ての翻訳完了。
 - ②版下作成完了。
 - ③校正。
 - ④出版後の更新方法の検討。
- 3) 医療における情報のバリュー・スタディ
 - (1) 委員会の開催予定
 - 第1回 8月 本調査準備
 - 第2回 12月 本調査の結果分析と報告作成、発表、執筆計画
 - (2) 事業計画と年間目標
 - ①委員の増員
 - 第2期調査に向けて、委員を1名増員する。
 - ②第1期調査の報告・発表の準備と実施
 - ・第87回総会(5月26日)で報告を行う。
 - ・第1回学術集会(5月27日)のJMLA-CEとして講演を行う。
 - ・『医学図書館』誌へ解説と第1期調査の結果報告を投稿する(5月)。
 - ③第2期調査の準備と実施
 - ・第2期調査の参加協力病院の募集広報をする(4～8月頃)。
 - ・第2期のウェブアンケート調査を実施する(10月)。
 - ・第2期のインタビュー調査を実施する(11月)。
 - ・第2期調査の分析と報告の準備をする(12月～3月)。
 - ④外部の報告・発表先の選定と準備
 - ・報告・発表先の選定を行う(12月～3月)。
 - ・発表資料、執筆準備を行う(12月～3月)。

X. 協会賞・奨励賞選考

- 1. 委員会の開催予定
 - 第1回 2016年6月 年間計画と奨励賞の対象についての検討、広報準備
 - 第2回 2017年2月 2016年度協会賞・奨励賞選考
- 2. 事業計画と年間目標
 - 1) 2016年度協会賞・奨励賞の選考
 - 奨励賞については規程改訂を確認して対象を拡大し、選考する。
 - 2) 協会賞、奨励賞の広報の拡充
 - 毎年1月末の応募締切に向け、11月頃から広報を開始する。また、地区会事務局への協力依頼や、著作物に限らず、協会の活動に寄与した業績も候補なので、各委員会へも応募を広く呼びかける。

XI． 国際交流委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第 1 回 8 月 上半期の業務進捗状況確認
 - 第 2 回 1 月 下半期の業務進捗状況確認
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 韓国医学図書館協議会（以下、KMLA）との連携
 - (1) KMLA との二者協定に基づく連携事業の継続
 - ①年次総会へ会員を相互に派遣
 - (2) 日本図書館見学ツアーの開催
 - ①見学先図書館の調整と依頼
 - ②懇親会開催
 - 2) 米国医学図書館協会（以下、MLA）との連携
 - (1) MLA との二者協定に基づく連携事業の継続
 - ①MLA への国際交流派遣助成募集
 - ②MLA キャンペーンのちらし配布
 - 3) 国際交流委員会の業務内容について覚え書きの更新
 - 4) 英語での情報発信及びその支援
 - (1) 英語ホームページに掲載する内容の再検討
 - 5) 海外の図書館員および関連団体から協会への問い合わせへの対応
 - (1) HTAi 年次大会での交流（2016 年 5 月 10 日～14 日 東京開催）
 - (2) その他問合せ、見学希望への対応
 - 6) 会議開催方法の検討
 - (1) 会議出席の負担を減らすためネット会議の開催を検討する

XII． 組織・制度委員会

1. 委員会の開催予定
 - 第 1 回 7 月 2016 年度総会審議結果の確認
 - 第 2 回 9 月 規程全般にわたる整合性の確認
 - 第 3 回 11 月 規程、細則、内規の見直し
 - 第 4 回 1 月 2017 年度総会での審議に関する事項
2. 事業計画と年間目標
 - 1) 規程等の改正及び制定
 - 2) 用語の統一
 - 3) 規程全般にわたる整合性の確認・体系化（定款・細則・規程・内規）

XIII． 部会 病院部会

1. 幹事会の開催予定
 - 第 1 回 9 月 見学会打ち合わせ、次年度活動計画検討

2. 活動計画と年間目標

- 1) 病院見学会 2017年2月 未定
- 2) 定例会 総会時に定例会を開催する。
- 3) 雑誌委員会との意見交換会